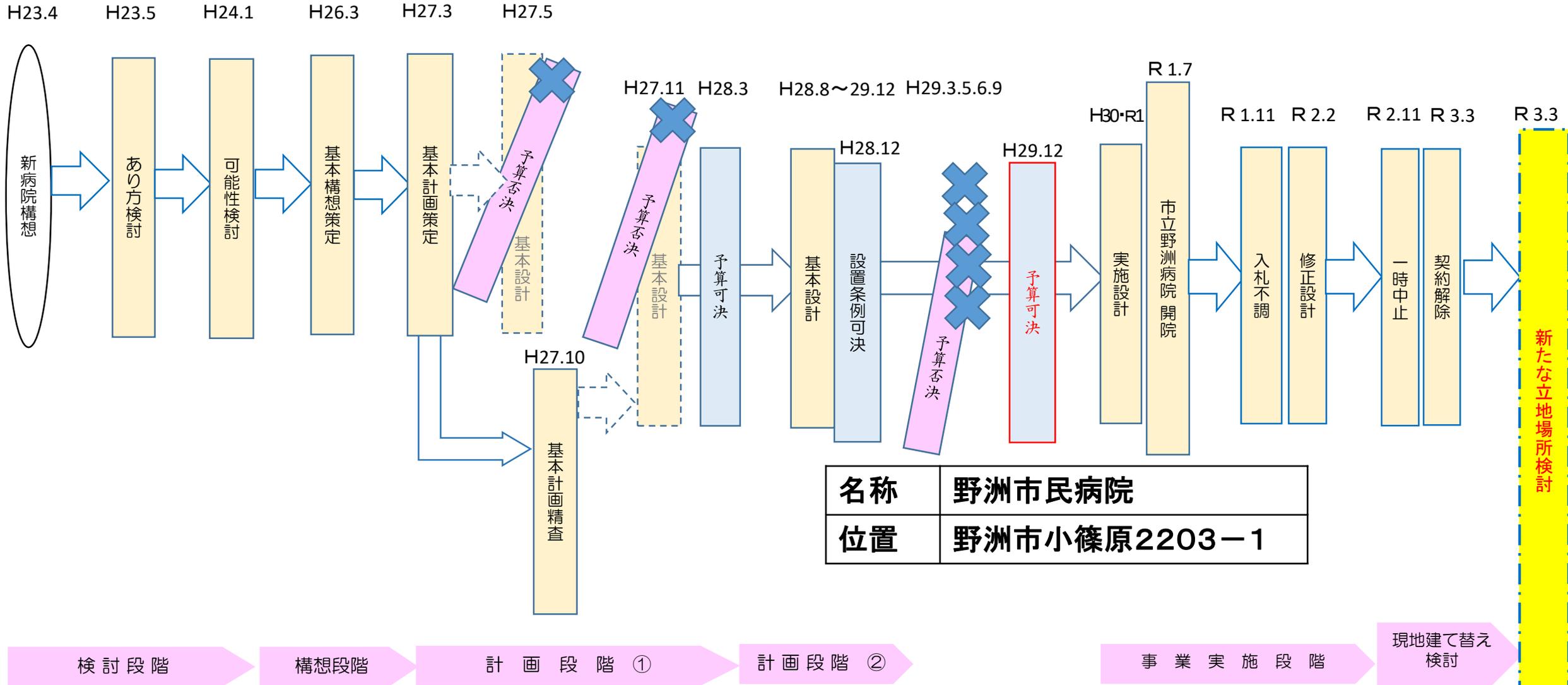


野洲市民病院整備事業特別委員会

令和3年5月10日

これまでの病院整備の経過について

1. これまでの経過 新病院構想～新たな立地場所検討



2. 病院整備方針の転換以降の経過（令和2年度）

- 市長選挙の結果に伴う病院整備方針の転換、駅前市有地からの見直し
修正設計の一時中止（11月2日） ➡ 契約解除（3月4日）

- 対案による現地建て替え実現可能性の検証

1月14日 野洲市民病院整備運営評価委員会 …専門部会の設置

〔 建築専門部会 1月14日, 2月8日

〔 医療専門部会 1月21日, 2月14日



3月1日 野洲市民病院整備運営評価委員会 …検証結果のまとめ

3月16日 野洲市民病院整備事業特別委員会

…現地建て替えの断念、病院立地場所 3 候補地の提示

3. 野洲市民病院整備事業特別委員会（令和3年3月16日）

（1）今後の病院整備の方向性

現計画の対案として現地建替え案を示したが、評価委員会から「一般的には、現地建替えは技術的に不可能ではない。ただし、狭隘な現病院において医療を継続しながらの現地建替えは、実現困難となる課題や懸念事項が多い。」との報告を受けた。

また、現地建替えを行うには、工事期間中の動線確保、療養環境や就労環境の悪化等課題が多く、現在のコロナ禍による医療の情勢等も含め総合的に判断をすると、現地建替えによる整備を断念せざるを得ない。

今後、本市の地域医療の空洞化を生じさせることなく、一日も早い病院整備を進めるためには、早急に立地場所を選定し、来年度中に基本構想及び基本計画を策定した上で、設計及び工事に取り掛かるよう進めていく。

設計及び工事については、工期短縮をするためデザイン・ビルド方式などの発注方法を検討し、令和7年度を目標年次として病院整備を進めるものである。

(2) 立地場所選定条件

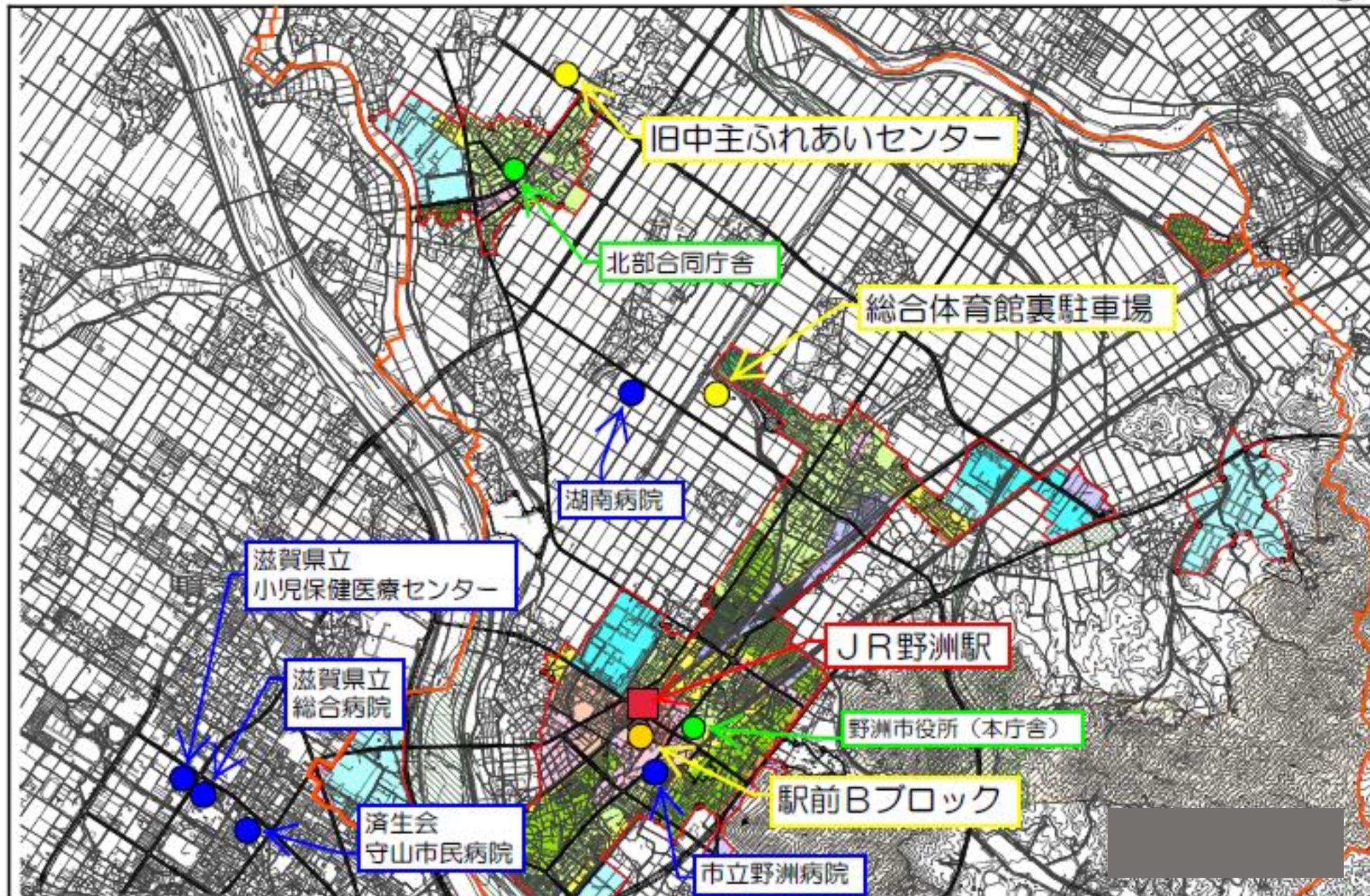
立地場所の選定について、次の条件を全て備えた場所とする。

- 市有地（民地による用地買収が不要）
- 施設整備が可能な一団のまとまった場所
- 早期の着工が見込める場所

(3) 立地場所選定条件に一致する候補地

敷地状況	①旧中主ふれあいセンター敷地	②総合体育館裏駐車場	③駅前Bブロック
住所地	吉地	富波甲	小篠原
面積	約8,300m ²	約7,600m ²	約3,600m ²
用途区域	市街化調整区域	市街化調整区域	商業地域
建蔽率/容積率	70%/200%	70%/200%	80%/400%

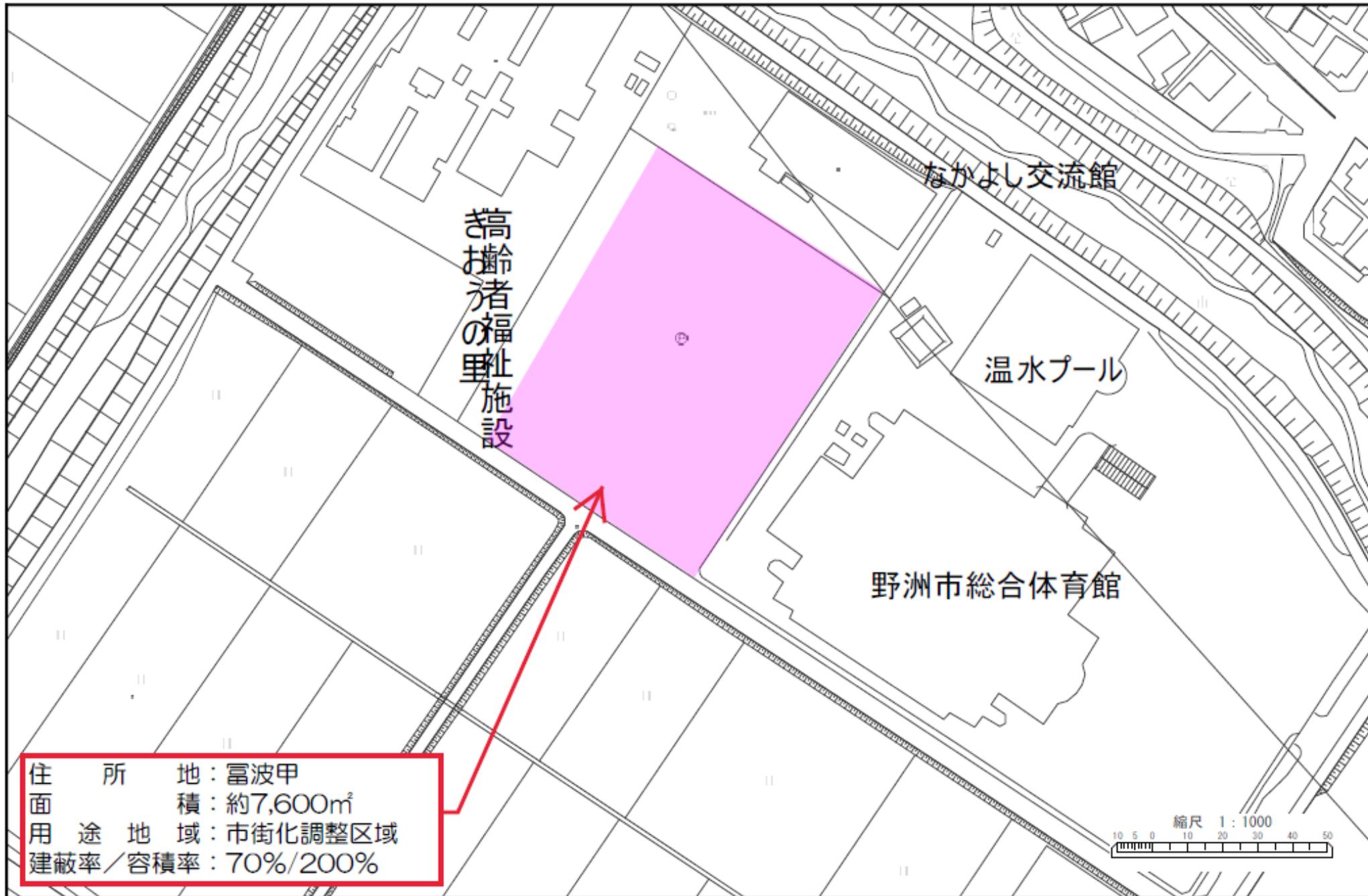
• 全体位置図



① 旧中主ふれあいセンター



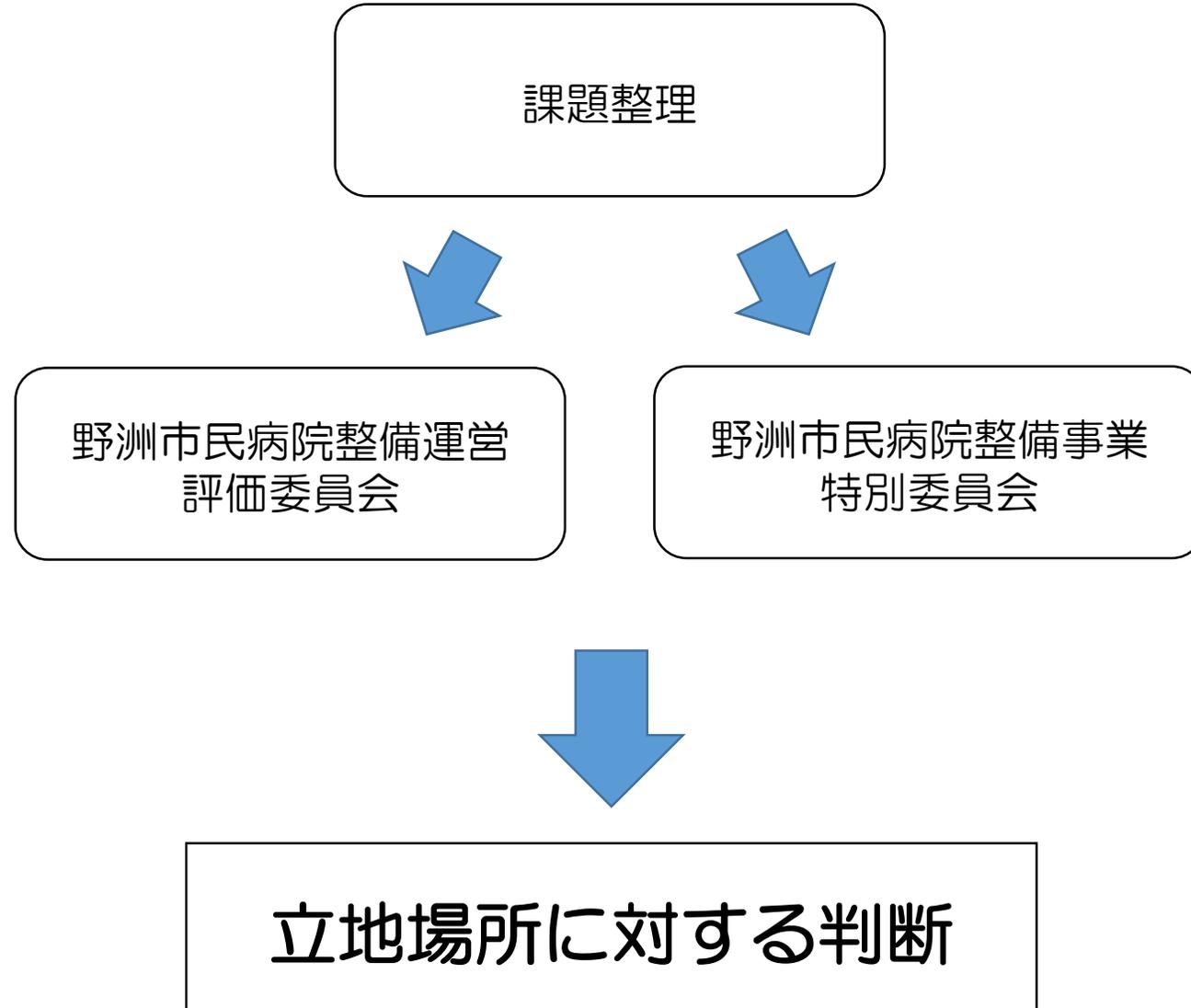
② 総合体育館裏駐車場



③ 駅前Bブロック

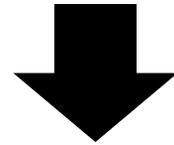


(4) 立地場所に関する検討プロセス



(5) 今後の病院整備予定 (令和3年5月現在)

令和3年度 立地場所の選定⇒設置条例の改正
基本構想・基本計画の見直し



令和4年度～ 基本設計・実施設計
設計が固まり次第 工事着手

令和7年度 竣工、新病院開院 【目標年次】

《工期短縮をするためDB方式などの発注方法を検討》

◎ 野洲市民病院整備運営評価委員会 (5月17日) の流れ

1. これまでの病院整備の経過について
2. 立地場所選定条件に一致する候補地について
 - (1) 市の描く病院像
 - (2) 立地場所の選定にかかる課題整理